

インサイド◆ニュース

TPC 5周年

感謝礼拝で和氣氏 今後のビジョン語る
礼拝、祈り会の継続拡大を

「日本のクリスチャンは人口の1%にも届かないのが現状。その状況を打破し、日本と世界にリバイバルを起こそう」と教職者、信徒らが協力し、毎日、礼拝と祈り会を行って来た東京ブレイザーセンター(TPC)和氣敏治代表、東京・千代田区神田駿河台2-1-1お茶の水クリスチャン・センター「OCC」4階)が、創立5周年を迎えた。それを記念し「TPC 5周年感謝礼拝」(TPC主催)が11月14日、OCC 8階チャペルで開催。和氣代表が5年間の証しを語り、TPC特別相談役の中野雄一郎氏(マウント・オリブ・ミニストリーズ代表)がマルコ14章35、36節から「聞かれない祈りの祝福」と題してメッセージをした。【中田 朗】



和氣敏治氏
人々を祝福するメッセージをしていくと、苦勞話も分ち合った。しかし、今では女性74人を含む355人のメッセージが与えられている」と言う。



オチヤキチャペル

者との打ち合わせ、祈りの中で、毎日の礼拝と祈りへと導かれたのです。初期の頃はメッセージングがあまりなく、仲間数ではなかった。お金の無い赤十字の月がない。お金の



Meg&Piano Koji, Crystal Beads、グレース 御茶ノ水ゴスペルクワイアによる特別賛美



中野雄一郎氏

「私はもとも極めて慎重、計画的な理系の人間。ところが、何をしたらいいのか何とも考えずに買っただ。自分でもありえないようなことをして関係



感謝会で挨拶する尾山令仁氏

「今、とりなす

TPCは従来のような教会制度は取らず、会員制もなく、出入りは自由。朝、午後、夜の空いた時間には現在、7つの教会が礼拝をし、ライブが来た。今思うに、それが、神様がらのコーリクであつたような気がします」

中野氏は内村鑑三の本の中から「聞かれない祈り」の一つとして、「ゲッセマネの祈り」を挙げ、「答えられない祈りこそ、私たちに神様の祝福をもたらす祈りではないか」と語

者、御言葉を語る者が必要としている。どうか皆さん、TPCを応援してください」と語りかけた。

感謝礼拝の後には、場所を変え、御茶ノ水駅近くのレストランで感謝会を開催し会食をした。また尾山令仁(聖書キリスト教会会長牧師)、村上宣道(OCC理事長)、細井真(前アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団理事長)、ステイブ・栄子(オメガ・ミニストリーズ代表)の各氏が挨拶をし、紫園香さんがフルート演奏、原田恵、吉田恵さんが特別賛美を披露した。